

「」ろ」4 私の決断

私は策略によつてKを打ち負かしたに思えたが、Kの不思議な言動により、私は「最後の決断」をしなければならないと考へる。Kの言動の真意はどこにあるのか、どうして私は「最後の決断」をしなければならなかつたのか、Kの自殺の原因を探るためにはこの点をしつかり読み取ろう。

F

① 146 下2 「彼には投げ出すことのできないほど尊い過去があつたからです。彼はそのために今まで生きてきたと言つてもいいくらいなのです。」

③ 147 上。『私はほどなく穏やかな眠りに落ちました。しかし突然私の名を呼ぶ声で目を覚ました。見ると、間の襖が二尺ばかり開いて、そこにKの黒い影が立っています。そうして彼の部屋には宵のとおりまだ明かりがついているのです。急に世界の変わった私は、少しの間口を聞くことができず、ぼうつとして、その光景を眺めていました。』

○「**の時、私の名前は何回ばれたと推測できるか？**

a	一～二回
b	三～五回
c	六～十数回

② 146 下 16 「上野から帰った晩は、私にとつて比較的安静な夜でした。私はKが部屋へ引き上げたあとを追いかけて、彼の机のそばに座り込みました。そうしてとりとめもない世間話をわざと彼にしむけました。彼は迷惑そうでした。私の目にには勝利の色が多少輝いていたでしょう。私の声にははたしかに得意の響きがあつたのです。私はしばらくなくKと一つ火鉢に手をかざしたあと、自分の部屋に帰りました。ほかのことにかけては何をしても彼に及ばなかつた私も、そのときだけは恐るるに足りないという自覚を彼に對して持つていたのです。」

○私とKの優劣関係はどうなつているか?

か？

ました。」○「もう」の裏にはどういう思いがある  
とは、Kの精神状態はどのようだと判断できるか？△  
⑤ 147 下 1 「Kはたいした用でもない、ただもう寝たか、まだ起きているかと思つて、便所へ行つたついでにきいてみただけだと答えました。」けれども彼の声は不斷よりもかえつて落ち着いていたくらいでした。」○声が落ち着いているというこ  
⑥ 147 下 15 「なぜそんなことをしたのかと尋ねると、別にはつきりした返事もしません。調子の抜けたころになつて、ちかごろは熟睡ができるのかとかえつて向こうから私に問うのです。私はなんだか変に感じました。」○「ちかごろは熟睡がで  
きるのか？」の裏にはどういう思いがあるか？△

「Kはそうではないと強い調子で言い切りました。昨日上野で『その話はもうやめよう。』と言ったではないかと注意するごとくにも聞こえました。Kはそういう点にかけて鋭い自尊心を持った男なのです。」OKがそう言っているという」とは……

a 話すつもりであつた

b 話すつもりではなかつた

⑧ 148 上 6 今朝から昨日のことが気にかかる私、途中でまたKを追究しました。けれどもKはやはり私を満足させるような答えをしません。私はあの事件について何か話すつもりではなかったのかと念を押してみました。」

国語プリント No. ( ) 年組番名前 ( )

配布日  
月 日 曜



たいたの<sup>(15)</sup>のかとは言<sup>い</sup>ませんでし<sup>た</sup>。彼は「病気はもうか、医者へでも行<sup>つ</sup>たのか」下<sup>15</sup>にしかし彼はい<sup>つ</sup>ものとおり今帰<sup>つ</sup>。<sup>15</sup>



K

14 151 上 14 「奥さんは『大丈夫です。本人が承知のところへ、私があの子をやるはずがあります』と言いました。」**○お嬢さんは本当はせんから。**」

奥さん

a 私  
b K  
c 他の誰か

せんから。』と言いました。

承知のところへ、私はあの

○「最後の手段」とは何だと私は考えたのか？  
○これが「例外」ではなく「果斷に富んだ」と結びつ  
くのを説明しなさい。

優柔

⑨ 148 上 18 「Kの果斷に富んだ性格は私によく知れていました。彼のこの事件についてのみ優柔なわけも私にはちゃんととのみ込めていたのです。」

例外

148 下2 「つまり私は一般を心得たうえで、例外の場合をしつかり捕まえたつもりで得意だったのです。」 Or 「一般」・「例外」はそれぞれ何を指す？

(11) 148 下「ところが『覚悟』という彼の言葉を、頭の中で何べんも咀嚼しているうちに、私の得意はだんだん色を失つて、しまいにはぐらぐら動き始めるようになりました。私はこの場合もあるいは彼にとつて例外でないのかもしれないと思い出したのです。すべての疑惑、煩悶、懊惱を一度に解決する最後の手段を、彼は胸の中に畳み込んでいたのですが、どうかと疑ぐり始めたのです。そうした新しい光で覚悟の二字を眺め返してみた私は、はつと驚きました。」

(12) ーーの時の私との優劣関係を説明しなさい。

(13) 149 上 1 「私は私も最後の決断が必要だとい  
う声を心の耳で聞きました。」○私の決断は何か?

**(13) 150 上<sup>8</sup>「Kがちかごろ何か言いはしなかつたかと奥さんにきいてみました。」OKが言うとしたら何を言うと想定していたか?**

「私はその刹那に、彼の前に手をついて、謝りました。しかも私の受けたそのときの衝動は決して弱いものではなかつたのです。もしKと私がたつた二人曠野の真ん中にでも立つていいたならば、私はきっと良心の命令に従つて、その場で彼に謝罪したろうと思ひます。」○この時の私は

(16) 153 上  
「しかし奥には人がいます。私の自然はすぐそこでいい止められてしまったのです。そうして悲しいことに永久に復活しなかつたのです。」○どうして「永久に復活」しなかつたのか。

〔○〕「めぞん一刻」9巻  
1985 高橋留美子 小学館